



Fading into Fall Stacey Fujikawa

The intense heat and sunshine of summer has come to a close. Bugs are starting to disappear and leaves are starting to turn vibrant shades of red, orange, and yellow. After the long, hot summer, the slight chill in the air is welcomed, and hints of another season... winter is coming!

Fall and spring are my favourite seasons, but this year, fall gives me an extra sense of excitement. In just a few short months my parents, uncle, and aunt will come all the way from Canada to visit me during the holiday season! I can't wait to introduce them to my friends and to show them the place I now call home. Higashikawa is a wonderful town, filled with many friendly people and beautiful places. I'm sure they will love it as much as I do! After, we will travel throughout Honshu and down to Kyushu, where my father's parents were originally from.

When I was seventeen, I participated in a homestay exchange to Wakayama. Three years later my host sister visited my family and I in Canada while she was studying English in Vancouver. Another five years have passed and I am looking forward to seeing my host family once again. My host sister is now married and has a baby. We are excited to see each other and for our parents to finally meet!

秋へ向かう ステージー フジカワ

猛暑と夏の日射しが去りました。虫たちも徐々にいなくなり、木の葉が鮮やかな赤やだいたい色、黄色へと変身し始めています。猛暑の後のかすかな冷気はうれしいものですが、もう次の季節の気配さえします。そう、冬が近づいています。

春と秋は大好きですが、この秋はいつも増してわくわくです。あと数カ月したら冬休み、両親と叔父、叔母がはるかカナダから来ます。友だちや、今では私の故郷ともいえる場所を紹介できると思うと待ちきれない気持ちです。たくさんの親切な人たち、美しい場所、東川は本当に素晴らしい町です。きっと私と同じくらい、この町を気に入ってくれることでしょう。さらに本州を旅して、父方の祖父母の故郷、九州まで行く予定です。

和歌山でホームステイしたのは17歳の時でした。3年後、その家の娘さんがバンクーバーに留学し、私と家族を訪ねてくれました。あれから5年、もう結婚して赤ちゃんもいる彼女やホストファミリーにまた会えるのが楽しみです。両方の親同士が会うのも初めてです。わくわくします!

(訳:宮地晶子)

英語教育指導員 宮地晶子の

エイゴのマナビカタ

第91回

「He planted very good seeds in me.」

(先生は自分にいい種をまいてくれた)

先月登場した写真家アリフさん、絵画を専攻していた17歳の時、一人の先生と出会いました。貧しい出身で自信もなかったアリフさんは、先生に励まされ自信を持てるようになったそうです。

その先生のアドバイスは2つ。「Learn English.It's a must!」(英語を身につけなさい。絶対だよ)と「Work hard.」(金の罫にはまるな、がんばれ!)。

そしてある時、アリフさんは旅に出ました。予算は1日1ドル、街角で似顔絵を描いて稼ぎながらの貧乏旅行。出発

前、ドイツのミュンヘンで何気なく中古のカメラを手に入れます。ニコンF3でした。そして訪れたイランで、なんと戦争が始まったのです。

写真を撮り、文章を付けて本国トルコへ…。すると新聞に大きく取り上げられ…。その後、政府の依頼でトルコ語と縁の深い国々、イラン、パキスタン、中国、モンゴル、ウイグル、カシュガルを訪ねるドキュメンタリー番組を作成。この旅でウイグル族と出会いました。そして駱駝(ラクダ)が1日30キロメートルも移動可能だと聞き、シルクロードの旅を着想します。

6年越しでやっとスポンサーが見つかると、モンゴルで駱駝を10頭調達。中国・西安からシルクロードの旅を始めました。18カ月間に渡るこの旅の間、毎日8時間歩き、写真を撮り続けました。こうして少しずつ彼は写真家へと成長していったのです。

「若いときに頑張ってたよかったです。楽ではなかったけれど、やりたいことを追求してきた。同世代の仲間は商業的な写真で経済的には成功したけれど、作品と呼べるものがない。人は時間やお金と引き換えに情熱を失う」。そんな彼のところに、今では世界中の若い写真家がアドバイスを求めてやってきます。今度は彼が種をまく番です。

【ちょっと豆知識】

宮地晶子

今回は「bugs(バグズ)」という言葉が出てきました。虫という意味ですね。人気アニメ映画「バグズ ライフ」では、アリやバツタが大活躍です。パソコンでは、プログラムや製造上の誤り、欠陥を表すのに使われています。新しい使い方のように感じられますが、すでに1878年にエジソンが使っていたという記録があります。他にも「〜狂」という意味でも使います。例えば「写真大好き!」な人を「a photography bug」と言います。